

今月の主な内容

- 2面: 東日本大震災から2年
- 3面: 大阪市大・府大 統合続報
- 4面: 新入生へ贈る「時間の使い方」特集
- 6面: 関西学生野球連盟 開幕前特集
- 7面: 開幕前! この春注目の3チーム



携帯HP

神戸大学ニュースネット

NEWS NET

©神戸大学ニュースネット委員会 http://home.kobe-u.com/top/newsnet/ 関西学生報道連盟共同編集室=〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-2-24ダイコンビル4階 電話06-6307-1315 FAX06-6829-6353 メール info@unn-news.com

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます!

Tours Japan http://www.tours-japan.co.jp/

宿泊・ゼミ旅行など皆様の全ての旅行を応援します。 大阪市淀川区西中島 4丁目2番8号 YS 新大阪ビル 7F(701-702号) TEL:06-6101-0088

4月号

課外活動時間短縮へ 国文キャンパス4月から

2月27日、17の課外活動団体の代表者と学務部生活支援グループが課外活動時間について話し合い、学生会館(以下、学館)の使用時間が午後9時まで、鶴甲第一キャンパス(以下、国文キャンパス)の課外活動での使用が午後8時までとなる見通しとなった。これまでは全ての施設で午後10時までの課外活動が許されており、事実上の課外活動時間の短縮となる。これは4月の学生委員協議会で正式に決定された後、4月中旬頃から施行される予定だ。

夜間における学生の騒音に対する近隣の苦情のため、課外活動時間が短縮される旨が1月に発表されて以降、学生震災救援隊(以下、救援隊)をはじめとするサークル連合と、ブルーグラスサークルを中心とする「学生会館で活動するサークル一同」が、その撤回を求める文書を学長宛てに相次いで提出していた。サークル連合は2月4日に提出した「課外活動時間制限に対する撤回要求」で課外活動時間制限の撤回と苦情の情報公開を要求。「学生会館で活動するサークル一同」は同日に「課外活動時間短縮に関する嘆願書」を提出し、従来通りの午後10時閉館と苦情の公開を要求したことに加え、騒音対策としての自主的なルール策定を進めることを盛り込んだ。

これらの文書を受け、同27日に開催された会議には、救援隊やブルーグラスサークルをはじめとする17団体の代表者が参加。「10時までの使用」を求める学生側と「8時までに」という大学側の意見が一致せず、議論は平行線のまま進んだ。最終的には学館の使用を午後9時まで、国文キャンパスのほとんどの施設の使用を午後8時までとした上で、活動時間延長申

請の仕組み作りや、学館の日曜や祝祭日の閉館など、学生の課外活動に支障が出ないような対策について検討していく方針が大学側から出された。また、苦情の情報開示については「すべてを課外活動団体に提示するのは難しいが、個別の苦情の案件について聞かれたときには説明する」とした。学務部生活支援グループの中瀬航一さんは「課外活動を真面目に頑張っている学生には申し訳ないが、近隣住民に対する説明責任が」と語った。大学側は疑問や批判の声が上がっている。学館をサークルで利用する男子学生(経済・2年)は「学館の閉館が午後9時になったのは交渉の成果だ」と思っている。実際、神戸大生と分かれる服装でマナーの悪い行動をしていると報告された例が多数ある。学生には神戸大の看板を背負っていることを自覚し、言動には十分注意してほしいと話した。学生「納得いかず」

ここまでの流れ

- 1月9日 文化総務委員会で「2月から学館閉館時間を午後8時にする」と発表。
- 1月26日 リーダーストレーニングで、学館の午後8時閉館を3月から変更。4月からは国文キャンパスのほとんどの施設も同様に午後8時閉館にすると決定。
- 2月4日 サークル連合「課外活動時間制限に関する撤回要求」を学長に提出。
- 2月21日 学生会館で活動するサークル一同「課外活動時間変更に関する嘆願書」を学長に提出。
- 2月27日 17の課外活動団体と学務部で話し合い、4月中旬頃から学館は午後9時閉館、国文キャンパスの課外活動での施設利用時間は午後8時までとの方針が出される。

【鈴木太郎】

海事科学部4月から改組

より広範な学び可能に

2013年度より学科編成が変わる海事科学部。海洋安全システム科学科、グローバル輸送科学科、マリエンジニアリング科学科の3学科で新たに構成される。またこれに伴い、推薦入試などが加わった選抜方法が、2013年度入学者を対象に、既に実施された。

学科編成こう変わる

2012年度まで	海事技術マネジメント学科 海洋ロジスティクス科学科 マリンエンジニアリング学科
2013年度から	海洋安全システム科学科 グローバル輸送科学科 ・航海マネジメントコース ・ロジスティクスコース マリンエンジニアリング学科 ・機関マネジメントコース ・メカトロニクスコース

これまでは海事技術マネジメント学科、海洋ロジスティクス科学科、マリンエンジニアリング科学科の3学科で構成されていた海事科学部。改組に伴い、学科内にコースも新設される。グローバル輸送科学科には、操船について学べる航海マネジメントコース、陸上も含めた輸送計画の管理ができる人材を育成するロジスティクスコースの2つが用意されている。またマリンエンジニアリング科学科にも2つのコースが設置され、機関マネジメントコースではより船に特化した内

容が、メカトロニクスコースでは工学に関する総合的な内容が学べる。なお海の環境に関することを学べる海洋安全システム科学科にはコースが置かれていない。他にも、これまで学科の配属が2年後期からだったのが、2年前期からと前倒しになったのも大きな変更点の一つだ。



経済学部合格者 小林 憲汰 さん

「本当によかった。さすが自分かな」と答えてくれたのは、前期入試で経済学部合格した小林憲汰さん。六甲台キャンパスまで足を運んだが、合格の吉報は「来る途中でネットで知った。親や友達にもすぐ連絡した」とにっこり。合格発表の会場では、アメフト部の選手から胴上げによる祝福を受けた。他の受験生とは一味違い、「塾の先生のおかげで楽しく勉強できた」と受験生活を振り返る。

入学後は「フットサルをしたい。恋愛も頑張りたい」と威勢よく話すも、大学の勉強に関しては「よく分からない」と思わず苦笑していた小林さん。限りない可能性に満ちた彼の大学生活がこれから始まる。

【仲林恒平】

運動、恋愛、勉強でハットトリック!

同プロジェクトは代表の小池宏隆さん(法・1年)らが被災地支援を行う「神戸大学東北ボランティアパス」の一員として同地区を訪れた際、現地住民の「街灯が津波で流され、夜道が暗い」との声を聞き、神戸市内などで募金活動を行い、8月に1基を贈呈した。現在までの募金や寄付は100万円を超え、今回の贈呈につながっている。鶴住居地区での活動は一段落。小池さんは「地域の要望に応えられてよかった」と「ほっ」とした表情で話した。

「関西に住みたい」。私が高校時代に持っていた夢だ。理由は、特有のノリが好きだから。現在はその夢がかなわず、充満した日々を送っている。ただ2年前は違った。私の第一志望は同じ関西にある別の大学。かつて「天才児」とも呼ばれた私が志望するのは当然のこと。まあ受かるやろ」と思っていた。関西に住むという夢は違う形で実現するが、当時は失意のどん底だった。「入学おめでとう」と言われても無味乾燥な返事しかできず、悔しさに震えていた。今思えば迷惑な話だ。知り合いのいなかった私が、初めて入ったのがこのニュースネット。取材などを通じて多くの友人に恵まれた。第一志望に受かっていたらしくなっていたであろう貴重な経験もたくさんあった。この大学もこの街も、徐々にではあるが好みに近づいていった。大学生は自由だ。高校までとは比較できないほど、活動の幅が広がっている。私はそれを生かしてよかったと思う。きっかけは学歴コンプレックスだが、さまざまなコンプレックスを抱いてこの大学に入学してきた人こそ、私は声を大にして言いたい。「入学おめでとう」でございますと。【鈴木太郎】



神戸大文化系サークル有志企画「びえろ」の公演。Uedopayaso!

「やっぱりみんなです。テッシュ創りませんか。昨年末にSNS上でつぶやかれた一言が始まりました。過去に募集をかけた時は人数が集まらず断念したが、3月14日、15日にシアター300で行われた。この「びえろ」は、道化師の格好で学内に出没し話題となっていた神大ヒロの呼びかけで始まった期間限定企画。メンバーの得意分野を生かした歌やダンス、ジャグリングなどで客席を沸かせた。「やっぱみんなです。テッシュ創りませんか。昨年末にSNS上でつぶやかれた一言が始まりました。過去に募集をかけた時は人数が集まらず断念したが、3月14日、15日にシアター300で行われた。この「びえろ」は、道化師の格好で学内に出没し話題となっていた神大ヒロの呼びかけで始まった期間限定企画。メンバーの得意分野を生かした歌やダンス、ジャグリングなどで客席を沸かせた。「自分のわがままだったの。千秋楽を終えてヒロは「自分のわがままだったの。千秋楽を終えてヒロは「自分のわがままだったの。千秋楽を終えてヒロは」

「関西に住みたい」。私が高校時代に持っていた夢だ。理由は、特有のノリが好きだから。現在はその夢がかなわず、充満した日々を送っている。ただ2年前は違った。私の第一志望は同じ関西にある別の大学。かつて「天才児」とも呼ばれた私が志望するのは当然のこと。まあ受かるやろ」と思っていた。関西に住むという夢は違う形で実現するが、当時は失意のどん底だった。「入学おめでとう」と言われても無味乾燥な返事しかできず、悔しさに震えていた。今思えば迷惑な話だ。知り合いのいなかった私が、初めて入ったのがこのニュースネット。取材などを通じて多くの友人に恵まれた。第一志望に受かっていたらしくなっていたであろう貴重な経験もたくさんあった。この大学もこの街も、徐々にではあるが好みに近づいていった。大学生は自由だ。高校までとは比較できないほど、活動の幅が広がっている。私はそれを生かしてよかったと思う。きっかけは学歴コンプレックスだが、さまざまなコンプレックスを抱いてこの大学に入学してきた人こそ、私は声を大にして言いたい。「入学おめでとう」でございますと。【鈴木太郎】

新入生の皆さん
ご入学
おめでとうございます
ニュースネット新入部員熱烈歓迎!
newsnet.sns@gmail.com まで

大学での新生活に!
就活にグ〜ンと有利!
朝日新聞
未来を創る大学生のあなたへ
大学生応援価格の登場です。
朝日新聞月々購読料 (通常価格)3,925円
↓
大学生応援価格
2,500円
※大学生応援価格2,500円は、1ヶ月の購読料(税込)です。ひとり暮らしの大学生限定です。1年以上のご購読契約で、口座振替または、クレジット払いが条件となります。
お問い合わせ・お申し込み
ASA 神戸なだ
神戸市灘区土山町 1-13
☎ 078(851)5678
✉ info@asa-kobenada.com



女子ラクロス部
梶野 詩歩 (発達・3年)

チームを引っ張る
DFの要に!

女子ラクロス部は今年から1部リーグでプレーすることになった。その中で、DFリーダーとしてチームをけん引する梶野。2年からレギュラーを務め、多くの経験を積んできた。

Q 入部したきっかけは？
「中高で部活をやっていたので、大学から新しく始めるスポーツに魅力を感じた。チームの雰囲気も良かった」
Q プレースタイルは？
「声と練習姿勢で引っ張る。声はチームで一番大きい自信がある」
Q ラクロス部に入って一番うれしかったこと？
「チームとしては1部昇格したこと。個人では相手のミスやタックルにつなげて、シュートが決まった時」
Q 部に対する思い
「しんどい時も頑張っている人がいるから私も頑張れる。女子ラクロス部が大好き！」
◆ 今年の抱負
「4勝して入れ替え戦まで食い込まないこと。個人ではDFの要となり、100%プレーで引っ張れるようにしたい」
◆ 新入生に向けてメッセージをお願いします
「体育会系でしんどいこともありますが、仲がよいのでうちなら充実した大学生活が送れますよ！」

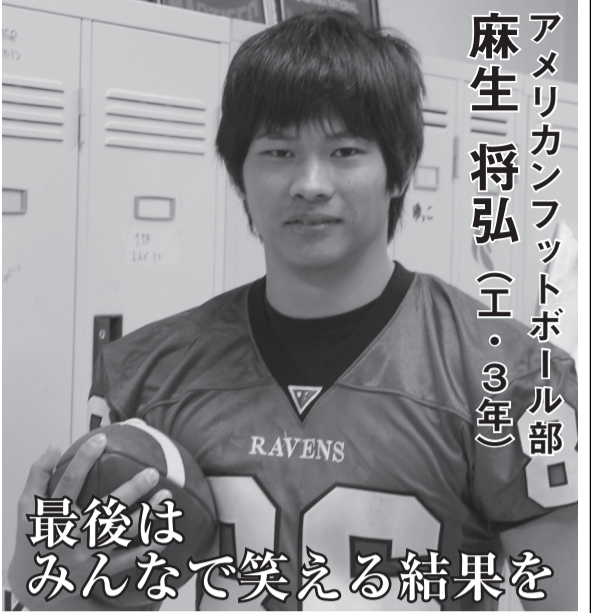
昨秋1部リーグで2位に輝いた硬式野球部。近年好成績を残している中、打線の中軸を任されてきた山崎。今年からは主将、さらには投手にも挑戦し、チームをけん引する。

Q 入部したきっかけは？
「国立で野球がそこそこ強いところを探していたので、神戸大が当時1部リーグだったので」
Q 野球部に入って一番うれしかったこと？
「チーム的には2部から1部上がった時。個人的には今が一番うれしい。ピッチャーもしているなどといった点で信頼してもらえたことが実感できるうれしさがある」
Q 部に対する思い
「感謝と責任を感じる。今が人生で一番野球がうまい！」
まくなる環境であり、恵まれていて。それはOBの支援でできているので、感謝する一方で、いい加減なことができないという責任もある」
◆ 今年の抱負
「チームではリーグ優勝し、できれば神宮でも勝てるチームにしたい。個人では何も考えてない。チームのことが全て」
◆ 新入生に向けてメッセージをお願いします
「強さと面白さ、どちらも本気でほしいやつが来い！」



硬式野球部
山崎 飛鳥 (工・3年)

チームに感じる
感謝と責任



アメリカンフットボール部
麻生 将弘 (工・3年)

最後はみんなで笑える結果を

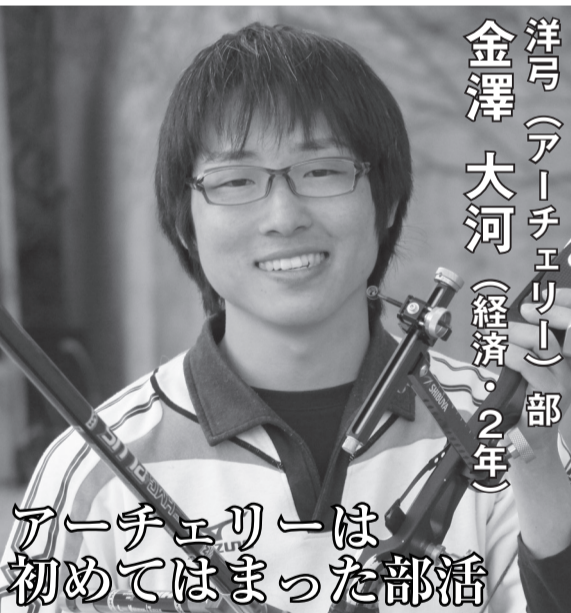
昨年は強豪校の壁を打ち破れずリーグ5位に終わったアメフト部。躍進へのキーマンとなるのがエースWR麻生だ。豊富な経験を生かしたパスキャッチでチームの得点源となる。

Q 入部したきっかけは？
「高校からアメフトをやっていた。国公立でアメフトができる大学を目指していた。選手主体である神戸大のチームカラーにひかれた」
Q プレースタイルは？
「負けん気が長所。上位校のDBに対して絶対負けたくないつもりでやっている。練習よりも試合の方が気持ち入り、いいプレーができる」
Q 部に対する思い
「苦しいこともあった活動の中で、支えてくれたチームメイトの存在は大きい。最後はみんなで笑えるような結果を残したい」
◆ 今年の抱負
「リーグ初戦の京都大戦に絶対勝つ。そして、スロガンの通リ、上位を目指していく」
◆ 新入生に向けてメッセージをお願いします
「経験者だけでなく未経験者の力も必要。新歓試合や練習を見せられて、アメフトの魅力を知ってもらいたい」

集え！エースたち！！

神戸大の運動部・サークルで輝く6人をピックアップ！

【石橋雄大・尾崎諒・片山孝章
小野学・仲林恒平・高橋和弘】



洋弓(アーチェリー)部
金澤 大河 (経済・2年)

アーチェリーは初めてはまった部活

1部リーグ中、上位3校が進出できる王座決定戦出場を目指す洋弓部。金澤は昨年、兵庫県内でのアーチェリー大会で優勝。今年も副将として主将をサポートしつつ、プレーでチームを引っ張る。

Q 入部したきっかけは？
「友人に連れられて、新歓に行ったら、先輩の親しげな様子にひかれて入部を決めました」
Q 部の雰囲気は？
「お互い声を掛け合い指導しながら練習している。練習環境が良いのが特徴」
Q プレースタイルは？
「集中して早めに打っていく。試合は長時間かかるので、集中とリラックスを繰り返す」
Q 部に対する思い
「自分が点数を上げることで周りの人たちの点数アップにつながると思うので、しっかりと練習していきたい」
◆ 今年の抱負
「みんなで元気に王座決定戦を目指して勝ちにいきたいと思います。個人ではベストスコアを更新したい！」
◆ 新入生に向けてメッセージをお願いします
「アーチェリーは大学から始める人が多く、1年生でも活躍できるスポーツです。誰でも活躍できるので、ぜひ体験に来てみてください！」

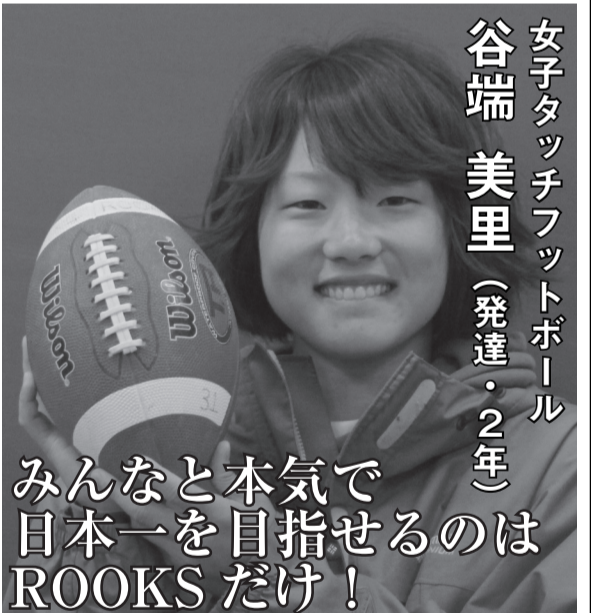
昨年の全日本学生拳法個人選手権大会で準優勝の快挙を成し遂げた上垣内(うえがいと)。今年1月からは主将も務める。個人のみならず、今年も名実ともにチームの大黒柱として、さらなる飛躍を誓う。

Q この競技を始めたきっかけは？
「テレビで空手の実演を見て、親に『僕も格闘技をやりたい』と言ったのが最初」
Q 日本拳法ってどんなスポーツ？
「ローキックを除けば、パンチもキックも投げ技もアリの、まさに格闘技です」
Q 主将になって思うことは？
「今までは自分が勝てばいいと思う部分もあったが、最近はチーム全体を連れていきたい」
見渡すようになってきた
◆ 今年の抱負
「チームの1部昇格と個人での全国制覇。昨年、全日本の決勝で負けた相手は、普通だった道場の先輩。それだけに今度こそ負けたくないです」
◆ 新入生に向けてメッセージをお願いします
「格闘技が好きで、やる気のある人！大学から始めても、200人規模の大会で優勝した先輩もいます。まずは練習を見に来てください！」



日本拳法部
上垣内 樹 (経済・2年)

今年こそ全国制覇！！



女子タッチフットボール部
谷端 美里 (発達・2年)

みんなと本気で日本一を目指すのはROOKSだけ！

昨年は秋リーグ制覇に続き、さくらボウルでも優勝し、2年ぶりの日本一の栄冠を手にしたタッチフットボールチームROOKS。谷端は連覇を目指すチームをキャプテンとしてけん引する。

Q 入部したきっかけは？
「合格発表の時から、良い先輩たちでノリが良かった。先輩方の人柄にひかれて入部を決めた」
Q 部の雰囲気は？
「現在は『本気でぶつかって本気で楽しむ家族』というチームのもとで活動している。先輩から先輩に対して技術面でも求める声が出せるような雰囲気」
Q 自分の部内での役割は？
「みんなにやる気と元気を与える存在でありたい」
◆ 今年の抱負
「初戦から2013年のROOKSらしきを出して良いスタートを切りたい。春はシユガールボウルに出場。秋にはさくらボウルに出て連覇したいです！」
◆ 新入生に向けてメッセージをお願いします
「ROOKSは明るくてノリが長くて、いい先輩もいるのでぜひ入ってください。いっしょにタッチフットをやりたいです！」